I-O DATA

MANU001578

初回設定マニュアル

Linux(オリジナルOS) 法人向けNAS
HDL-LXシリーズ

ご注意

お買い上げ時のレシート・領収書は大切に保管してください。
ご購入年月日の証明になります。詳しくは本紙裏面【ハードウェア保証規定】をご覧ください。

添付品を確認する

- □ 電源コード(1本)
- □ ACプラグ変換アダプター(1個)
- □ LANケーブル(1本)
- □ 初回設定マニュアル(本紙)

●HDL4-LXシリーズ、HDL2-LXシリーズのみ

- □ ACアダプター(1個)

※ACアダプターと電源コードをつないで使います。

●HDL4-LXUシリーズのみ

- □ ラックマウントレール(1式)
- □ ラックマウントレール取付方法(1枚)

詳細ガイド(Web)

バックアップ設定や故障時の対応など、本紙に記載のない設定について説明しています。
詳細ガイドは、本製品の設定画面左上の[マニュアル]からも見ることができます。

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-lx/

初期設定の前に

・ご利用のネットワーク環境でDHCPサーバー機能が有効になっていることをご確認ください。(ネットワーク管理者にご確認ください。)
DHCPサーバー機能が無効な場合は、本製品をネットワークに参加させるための適切なIPアドレスを取得し、本製品に設定してください。
※DHCPサーバーから自動取得できなかった場合、本製品のLAN 1ポートのIPアドレスは、192.168.0.200となります。
※一般的なブロードバンドルーターはDHCPサーバー機能が有効となっているため、IPアドレスの設定は必要ありません。
・給電されているLANケーブル(Power over Ethernet)は、絶対につながないでください。故障の原因になります。
・側面・前面の吸気口、背面の排気口は塞がないように設置してください。

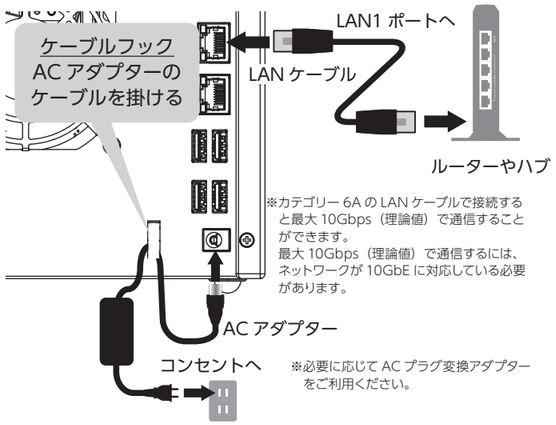
HDL4-LXUシリーズの場合

本紙作業の前に、別紙【ラックマウントレール取付方法】をご確認いただき、ラックマウントレールへの取り付けをしてください。

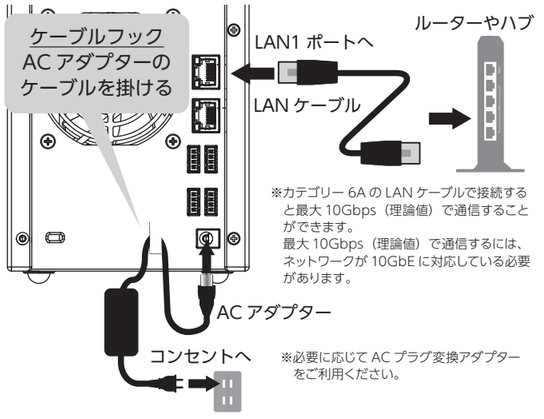
初期設定の準備

つなぐ

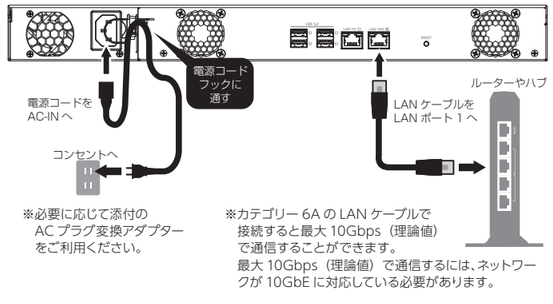
●HDL4-LXシリーズ



●HDL2-LXシリーズ

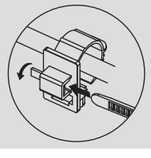


●HDL4-LXUシリーズ



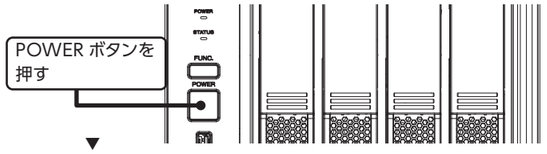
電源コードフックの使い方

電源コードが不意に抜けることを防ぐために、必ず電源コードフックをご利用ください。
フックの輪の部分を出す際は、図のレバーを上げながら引き出します。



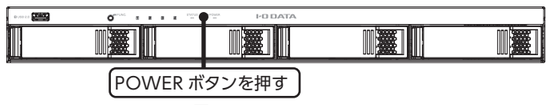
電源を入れる

●HDL4-LXシリーズ、HDL2-LXシリーズ



[STATUS ランプが緑点灯] まで待ちます。

●HDL4-LXUシリーズ



[STATUS ランプが緑点灯] まで待ちます。

ご注意

●各ランプついては、詳細ガイド（Web）でご確認ください。
●STATUS ランプが点滅中にコンセントを抜かないでください。
ファームウェアの更新がある場合、通常より起動時に時間がかかります。緑点滅の場合は、そのまま（約 10 分）お待ちください。
●動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源を切らないでください。故障やデータ消失の原因となります。特に、電源ケーブルを抜く、テーブルタップのスイッチを OFF にするなどにご注意ください。
●ファームウェアの [自動更新] [更新通知] が出荷時設定で有効になっているため、本製品を起動するとインターネットへ接続します。
●STATUS ランプが黄色点滅し、「ピーピーピー」と鳴った場合
ルーターから IP アドレスを取得できていないか、インターネットに接続できていません。本製品の IP アドレスを固定設定する場合は、このまま進み、【設定画面を開く】の手順 2 で【DHCP がない環境で起動時に赤点灯した場合】をご覧ください。その他の場合は、詳細ガイドをご確認ください。

電源を切る方法

POWER ボタンを **1 秒間押し続け**ます。
⇒ランプが点滅します。電源が切れるとランプが消灯します。
●ランプが消える前に、絶対に電源ケーブルを抜かないでください。故障の原因になります。
●POWER ボタンを 4 秒以上押し続けないでください。
強制シャットダウンになり、故障やデータ消失の原因になります。

LAN DISK CONNECTをインストールする

下記弊社 Web ページにアクセスし、LAN DISK CONNECT をインストールしてください。

https://www.iodata.jp/r/5160

※パソコンがインターネットに接続できない場合、インターネット接続できるパソコンでインストールするか、インターネット接続可能なパソコンでアプリをダウンロードし、USB メモリーなどで設定用パソコンに移動してください。

「Officeアドインをインストールしますか?」と表示されたら(Windowsのみ)

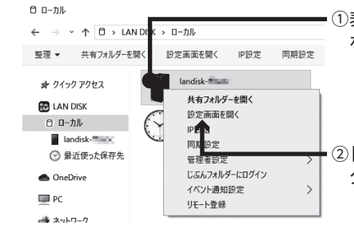
Microsoft Office 2013 以降がインストールされていれば、[はい] をクリックしてください。
Office の保存場所として「LAN DISK」を追加します。

設定画面を開く

インストールした LAN DISK CONNECT から設定画面を開き、初回設定をおこないます。
※LAN DISK CONNECT についてはヘルプをご覧ください。
(LAN DISK CONNECT 起動後にメニューの [ヘルプ] をクリック)

1 LAN DISK CONNECT を起動する
●Windows の場合
①デスクトップ上の [LAN DISK] をダブルクリック
②[ローカル] をクリック
●Mac の場合
[Finder] をクリックし、[LAN DISK] をクリック

2



[landisk-xxxxxx] が表示されない場合

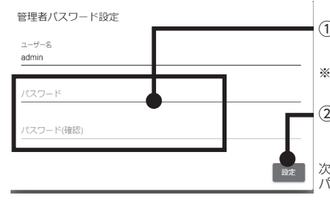
本製品の STATUS ランプが緑点滅している場合は、点灯に変わるまでお待ちください。
STATUS ランプが点灯中にも関わらず [landisk-xxxxxx] が表示されない場合は、右の Web ページをご覧ください。

DHCPがない環境で起動時に赤点灯した場合

上記画面で [IP 設定] をクリックし、設置ネットワーク環境に合わせて IP アドレスなどを設定してください。
IP アドレス設定後、[設定画面を開く] をクリックし、次の手順へお進みください。
※管理者パスワード入力画面では、何も入力せずに [OK] をクリックします。



3



4

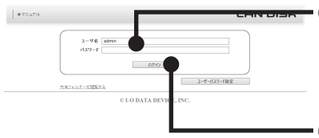


※引っ越し機能を利用する（古い LAN DISK から移行する）場合は、[現在使用中の LAN DISK から引っ越し] をクリックし、詳細ガイド（Web）をご覧ください。

裏につづきます→

設定画面を開く（つづき）

5



①[ユーザー名] に admin
[パスワード] に手順3で設定した管理者パスワードを入力

②[ログイン] をクリック

この後、詳細ガイド（Web）をご覧になり初期設定をおこなってください。

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-lx/#init

使用上のご注意

●データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

※バックアップとは、本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが 2 か所にあることを「バックアップ」と言います。）万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップをおこなってください。

●最新のファームウェアをご利用ください。

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

●本製品はローカルネットワーク上でご利用ください

本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

●AC プラグ変換アダプターの接地接続（アース接続）について

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。

●本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

・ハードディスクに記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業をおこなった だけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ 消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。

※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

・NarSuS に登録している場合は、製品登録情報を削除してください。
・本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

●お手入れについて

本製品についた汚れなどを落とす場合は、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。
・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
・ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
・市販のクリーニングキットは使わない。

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

禁止

指示を守る

本製品を修理・分解・改造しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない
感電の原因になります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
●お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺で使う際は、特に注意する
●水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かない
●万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使わない

決められた電源で使用する
所定以外の電源で、本製品を使用すると火災・感電の原因となります。

故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
発火の原因になります。

本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

▼ 電源（ACアダプター・コード・プラグ）について

ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない
発火、発熱のおそれがあります。

AC アダプターや電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがある場合にはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

AC アダプターや電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。
添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜き、乾いた布で電源プラグをふいてください。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保温性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量（1500Wなどの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない
破損し、けがの原因になります。

人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

動作環境、仕様、各部の名称・機能

詳細ガイド（Web）でご確認ください。

▼各種対応情報など

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-lx/#p70_openv

▼各部の名称・機能

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-lx/#epname

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもと、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換を行うものです。

1 保証内容
取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、取扱説明書等に記載された保証期間においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。なお、修理または交換には、ご購入日を証明するレシートや納品書のご提示が必要です。

2 保証対象
保証の対象となるのは本製品の本体ハードウェア部分のみです。ソフトウェア、付属品・添付品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外
以下の場合は保証の対象とはなりません。
1) ご購入日から取扱説明書等に記載された保証期間を経過した場合
2) 修理依頼の際、ご購入日を証明するレシートや納品書をご提示いただけない場合
3) レシートや納品書の記載が改ざんされている場合
4) 中古品としてご購入された場合や、オークション等の個人間売買で取得された場合
5) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害等の天災地変、公害、異常電圧等の外部的事情による故障または損傷の場合
6) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等、不適切な取り扱いにより生じた故障または損傷の場合
7) 接続不備（ケーブル・カードの向きの違いや斜め挿し等）に起因する故障または損傷、接続している他の機器やプログラム等に起因する故障または損傷の場合
8) 取扱説明書等に記載の使用方法や注意書き等に反するお取扱いを含む、落下、衝撃、加圧、過剰な力等に起因する故障または損傷の場合
9) 合理的使用方法に反するお取扱いやお客様の維持・管理環境（埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入、水・液体等の混入、結露、不衛生な状態等）に起因する故障または損傷の場合
10) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
11) 弊社が寿命に達したと判断した場合
12) 無期限保証の製品で、初回に導入した装置以外で使用された場合
13) 有寿命部品（SSD、コイン電池、冷却ファン、AC アダプター、メインボード、電解コンデンサ等）の自然消耗、磨耗、劣化
14) 使用頻度や経過時間等に関する弊社が定める製品耐久基準を超える使用によって生じた故障または損傷の場合
15) OS、ソフトウェア・アプリケーションの不備、CPU 等のハードウェア特性上の問題、コンピューターウイルスによって生じた不具合または故障の場合
16) お客様または第三者がダウンロードしたデータ、プログラム、ソフトウェア等によって生じた不具合の場合
17) 本製品のファームウェア等の修正プログラムおよびその書き換えに起因する不具合または故障の場合
18) その他弊社が保証対象外と判断した場合

4 修理
1) 修理をご依頼される場合は、本製品と、購入日を証明するレシートや納品書を弊社へご提示ください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップを行い、別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合、交換品や交換部品は弊社にて適宜処分し、お客様へ返却いたしません。

5 免責
1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等、本製品や接続製品内へのデータの保存の失敗について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任（本製品の故障または使用によって損害が生じた場合を含みますが、これらに限られません。）は、理由のいかんを問わず直接かつ通常の損害に限定され、派生的、付随的、間接的、精神的損害は含まれないものとし、かつその賠償額は製品の価格相当額を限度とします。
3) 弊社が契約不適合責任を負う場合であっても、弊社の責任範囲は、ご購入日から取扱説明書等に記載された保証期間を経過するまでの期間における本製品の修理、または契約上本来備えるべき仕様、規格、品質に適合した製品または同等品への交換に限り、損害賠償責任は負いません。
4) 本製品の使用に起因または関連し、お客様が第三者に損害を与えたものとして、弊社に対して当該第三者から何らかの請求がなされ、または訴訟が提起された場合、お客様は自らの費用と責任において当該請求または訴訟を解決するものとし、弊社は一切の責任を負いません。
5) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に含まれるソフトウェアの不備や脆弱性、本製品のファームウェア等の修正プログラムおよびその書き換えに起因して生じた損害について、弊社は一切の責任を負いません。

6 保証有効範囲
弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。 Our company provides the service under this warranty only in Japan.

アフターサービス

弊社では、弊社製品をご購入いただきましたお客様につきまして、製品の修理サービス、電話やメール等によるユーザーサポート、アップデートソフトウェアや製品に関する情報等をご提供しております。

重要

●アフターサービスは、対象となる製品の生産終了後5年を目途に終了します。なおOS搭載製品において搭載OSのサポートが終了した場合など、状況によっては製品の生産終了後5年を経過する前に終了する場合があります。

●アフターサービスは、株式会社アイ・オー・データ機器のサポートポリシー（https://www.iodata.jp/support/support_p/）に基づき提供します。

●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（https://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

サポートQ&A

https://www.iodata.jp/support/qa/landisk/hdl-lv/index.htm

お問い合わせ総合窓口

保証期間3年間

https://www.iodata.jp/support/after/tel/copld/lenlaso.htm

修理窓口

https://www.iodata.jp/support/after/repair/

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

［使用ソフトウェアについて］
本製品には、GNU General Public License Version3（GPLv 3）に基づいた、ソフトウェアが含まれています。
変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下のWeb ページをご確認ください。
https://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

［ご注意］
1）本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、別段の定めの無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2）本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3）本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。（This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.）
4）本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

［商標について］
記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

よりよい商品作りのためアンケートにご協力願います。